長崎クリスマス☆ページェント 2009

# "長崎の能" と アベマリア・サンタマリア

**純白のサンタ・マリア教会跡（現長崎歴史文化博物館）の丘に能が舞い、クリスマスの歌が響きます**

## 2009年12月24日（木）14：00～16：00　入場無料

## 長崎歴史文化博物館　1階エントランスホール

清水寛二
観世流シテ方

1953年生まれ
故観世寿夫及び故八世観世流と4年に師事。多田富雄作新作能「一右仙人」や、長崎諏訪神社での復曲能「諏訪」でシテを務めるなど、復曲・新作能に多数出演。1986年より能によって「地」を強らす試みを行う場として「地照舎」を主宰、西村高夫と「夢の会」を共宰。重要無形文化財総合指定保持者

**能出演者**
シテ：清水寛二
笛　：松田弘之
小鼓：飯田清一
大鼓：白坂信行
太鼓：田中　達
地謡：西村高夫、森本哲郎

=タイムスケジュール=
14：00～14：30　能「諏訪」
14：34～14：55　歌曲、ホワイトクリスマス
さやかに星はきらめき
14：57～15：07　囃子
15：10～15：40　能「長崎の聖母」

【写真提供　長崎新聞社】

### 能「諏訪」

寛文12（1672）年に創作され、平成9年（1997）年およそ140年ぶりに復曲。都から長崎を訪れた勅使に同神社の由来を語る老人が諏訪明神に姿をい変え、天皇への贈り物と祝いの言葉を勅使にささげる。諏訪神社の由来、神秘が語られ、海の広がりを感じさせる大きな構成の能です。

### 新作能「長崎の聖母」

浦上の丘を訪れた巡礼者に、被爆の信者が語るは惨劇の数々。その後、傷ついたものらを助け、慰めた、誰とも知らぬ信女。もしや、その信女は聖母マリアの化身だったのでは…。被爆60周年の平成17（2005）年に東京大学医学部名誉教授多田富雄氏によって創作された新作能です。

松本佳代子
ソプラノ

[illegible]

山浦直子
ピアノ

[illegible]

主催：長崎クリスマス推進委員会　共催：長崎歴史文化博物館　[illegible]
後援：NPO世界遺産長崎チャーチトラスト　NPO長崎巡礼センター　[illegible]

（問合せ）　長崎歴史文化博物館　[illegible]